

環境活動レポート

レポート対象期間(平成 27 年 12 月～28 年 2 月)



株式会社 マゴオリ

長崎県佐世保市天満町 2 番 26 号

平成 28 年 3 月 25 日作成

目次

- ① 組織の概要
- ② 対象範囲
- ③ 環境方針
- ④ 環境目標
- ⑤ 環境活動計画
- ⑥ 環境目標の実績
- ⑦ 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取り組み内容
- ⑧ 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無
- ⑨ 代表者による全体評価と見直しの結果

① 組織の概要

(1) 事業所名及び代表者指名

株式会社 マゴオリ
代表取締役 馬郡 謙一

(2) 所在地

本 社 : 長崎県佐世保市天満町 2 番 26 号
長崎支店 : 長崎県長崎市幸町 3 番 19 号

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

- ・ 環境管理責任者 副島 郡司
Tel 0956-23-5381 Fax 0956-22-3340
e-mail gunji@magoori.co.jp
- ・ 担当者 馬郡 渉
e-mail shoh@magoori.co.jp

(4) 事業内容

- ・ OA 機器・事務用品販売
- ・ 各種プリント業務
- ・ コピー・複合機メンテナンス

(5) 事業の規模 (本社・支店合計)

平成 24 年度売上高 : 1,090,180 千円
平成 25 年度売上高 : 1,425,940 千円
平成 26 年度売上高 : 1,396,210 千円
総従業員数 66 名

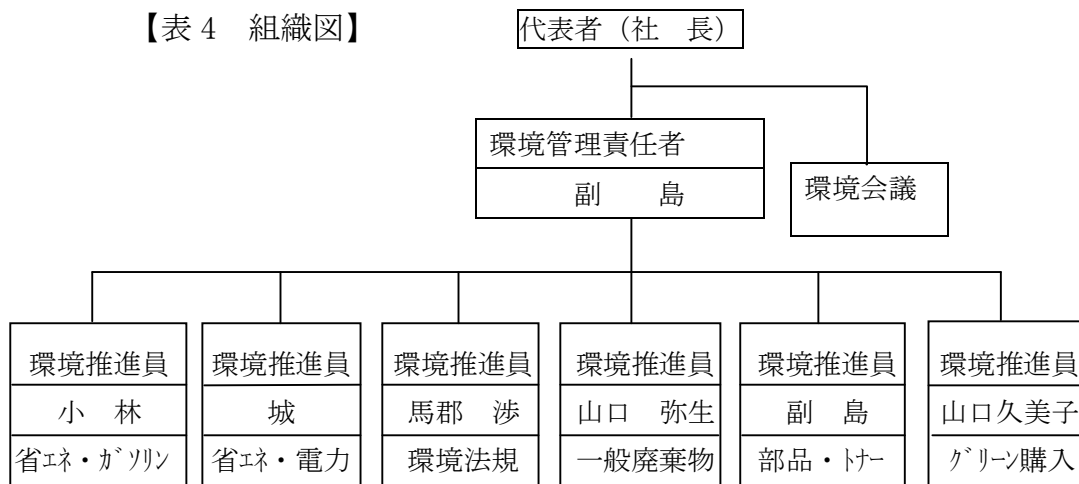
(本社のみ)

平成 24 年度売上高 : 908,368 千円
平成 25 年度売上高 : 919,702 千円
平成 26 年度売上高 : 819,195 千円
総従業員数 26 名

(6)環境管理推進の組織図

当社が、事業活動を行う上で環境管理を推進するための組織図を【表 4】に示します。

【表 4 組織図】



② 対象範囲

(1). 認証・登録の対象とする組織

本 社 : 長崎県佐世保市天満町 2 番 26 号

■ 全活動を認証・登録の対象範囲としていない。

【全組織・全活動に認証・登録の対象範囲を拡大する時期】

- ・ 対象事業所名 : 長崎支店
- ・ 登録拡大の時期 : 平成 29 年 4 月

【対象外範囲について】

- ・ 佐世保市役所からの業務受託及び SSK 分室業務におきしては、相手先事業所内での勤務となり当 EMS で管理できないため、対象事業所に含まないものとします。

(2) 本社以外の「対象事業所」 現時点では無

(3). 対象とする事業活動

事務機器の販売・メンテナンス及びプリントサービス

③ 環境方針

環 境 方 針

株式会社 マゴオリは、商品売るのではなく、お客様が十二分に商品を使っていただくことを、会社の使命とし、環境問題についても全社をあげて積極的に取り組む。

- 1、 当社は、お客様に提供する製品及びサービスだけでなく、企業としてあらゆる活動においても環境に配慮した企業活動を目指す。
- 2、 社会の環境に配慮し、環境負荷低減の継続的改善に取り組み、汚染の予防にも努める。
- 3、 環境関連法規、条例等を遵守し、自らの責任において環境負荷低減の目標を設定し、その実現に努める。
- 4、 グリーン販売・購入、及びリサイクルを含むエネルギーや資源の有効利用、廃棄物の削減に取り組み、かつその内容を定期的に見直しする。
- 5、 化学物質の適正な管理をいたします。
- 6、 本方針を含む環境マネジメントシステムを文書化し、環境教育を通じ全従業員に周知し、環境保全活動を遂行できるように啓発を行なう。
- 6、 本方針は、一般の方から要求があれば、配布する。

2015年 12月 1日

株式会社 マゴオリ

代表取締役 馬郡 謙一

④ 環境目標

環境への負荷の状況（取りまとめ表）

環境への負荷		単位	H24 年度	H25 年度	H26 年度	
① 温室効果ガス排出量	二酸化炭素	kg-CO ₂	77831.3	64611.8	73495.7	
	()	kg-CO ₂				
	()	kg-CO ₂				
② 廃棄物排出量及び廃棄物最終処分量	一般廃棄物	(リサイクル)	kg	3,220.4	2,829.5	2,943.8
		()	kg			
		最終処分量	kg			
	産業廃棄物	(リサイクル)	kg	5,767.8	4,187	4,806.4
		(焼却(プラ))	kg	159	156	147
		最終処分量	kg			
③ 1 総排水量	公共用水域	m ³				
	下水道	m ³	160	172	212	
④ 2 水使用量	上水	m ³	160	172	212	
	工業用水	m ³				
	地下水	m ³				
⑤ 化学物質使用量		kg	—	—	—	
		kg				
		kg				
⑥ エネルギー使用量	購入電力（新エネルギーを除く）	MJ	536983.4	432529.8	464005.4	
	化石燃料	MJ	684488.3	579958.3	684488.3	
	新エネルギー	MJ				
	その他	MJ				
⑦ 物質使用量	資源使用量（社内使用ペーパー）	kg	2,645.3	2,425.8	3,175.5	
	循環資源使用量	kg				
⑧ サイト内で循環的利用を行っている物質等	利用された物質	kg				
	水の利用量	m ³				
⑨ 総製品生産量または総商品販売量	製品生産量等	千円	3,909	311,805	318,286	
	環境負荷低減に資する製品等	t				
	容器包装使用量	t				

【表1 環境目標】

① 省エネルギー活動の推進

電力消費量を平成27年度より、3ヵ年で平成26年度実績の3%削減する。

項目	単位	平成26年度 基準年	平成27年度	3ヵ年目標 (平成27年度～29年度)
電力消費量	kWh	47,203	1%削減	29年度まで3%削減
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	27,566.6	1%削減	

※九州電力の二酸化炭素排出係数は平成26年度実排出係数0.584 Kg-CO₂を使用する。

② 自動車用燃料の二酸化炭素排出量の削減

燃料油消費量を平成27年度より、3ヵ年で平成26年度実績の3%削減する。

項目	単位	平成26年度 基準年	平成27年度	3ヵ年目標 (平成27年度～29年度)
燃料油消費量	L	19783	1%削減	29年度まで3%削減
二酸化炭素換算量	kg-CO ₂	45,929	1%削減	

1リットル当りの走行距離の延長と運搬量の増加に努めます。

③ 一般廃棄物の維持管理・リサイクル活動の推進

一般廃棄物排出量は平成27年度より、3ヵ年で平成26年度実績を継続、維持する。

項目	単位	平成26年度 基準年	平成27年度	3ヵ年目標 (平成27年度～29年度)
再生利用	kg	2,944	維持管理	現状維持
単純焼却等	kg	記録なし	実績の把握	実績の把握を継続する

④ 産業廃棄物の削減・リサイクル活動の推進

産業廃棄物排出量は平成27年度より、3ヵ年で平成26年度実績を継続、維持する。

項目	単位	平成26年度 基準年	平成27年度	3ヵ年目標 (平成27年度～29年度)
再生利用	kg	4,806.4	維持管理	維持管理
廃棄物最終処分量	kg	147	維持管理	維持管理

⑤ 節水活動の維持

平成 27 年度より、3 ヶ年で平成 26 年度実績を維持、管理する。

項目	単位	平成 26 年度	平成 27 年度	3 ヶ年目標 (平成 27 年度～29 年度)
水使用量	m ³	212	維持管理	維持・管理

⑥ グリーン購入の推進

平成 27 年度より、全購入品に対し 85% 目標とし、管理する。

項目	単位	平成 26 年度	平成 27 年度	3 ヶ年目標 (平成 27 年度～29 年度)
グリーン購入	%	94.2	維持管理	維持・管理

⑦ 学物質使用量の削減・・・化学物質（PRTR 対象物質）を使用している場合・・・

平成 27 年度より、消費量を管理する。

項目	単位	平成 26 年度	平成 27 年度	3 ヶ年目標 (平成 27 年度～29 年度)
化学物質使用量	L	記録なし	データ収集管理	データ収集・管理

※エチルアルコールの適正管理。

⑧ 自らが生産・販売・提供する製品及びサービスに関する環境配慮

環境対策商品販売を平成 27 年度より、3 ヶ年で平成 26 年度実績の 45% 増とする。

項目	単位	平成 26 年度	平成 27 年度	3 ヶ年目標 (平成 27 年度～29 年度)
環境配慮型商品の販売	千円	318,286	15% 増	29 年度まで 45% 増。

※但し、営業目標に関しては、不適合の場合でも是正処置は必要としない。

⑨ 地域ボランティア活動の推進

地域環境活動を平成 27 年度より、年 1 回以上の参加。

項目	単位	平成 26 年度	平成 27 年度	3 ヶ年目標 (平成 27 年度～29 年度)
ボランティア活動	回/年間	1	1	29 年度までに 3 回とする

⑤ 環境活動計画

取組項目	長期目標	単年度目標	担当者	責任者	取組内容
電力消費量削減	3 ヶ年で電気使用量を3%削減	平成27年度1%削減	城	環境保全関係 責任者 副島 郡司	<ul style="list-style-type: none"> ① 昼休み及び不在時の照明消灯（晴天時） ② 未使用時のパソコンの電源OFF ③ 室内空調は、夏期は28℃、冬期は21℃以下に設定
エコドライブの推進	3 ヶ年でガソリン使用量を3%削減	平成27年度1%削減	小林		<ul style="list-style-type: none"> ① 効率的な訪問ルートの設定 ② 社用車の効率的な運転の推進 ③ アイドリングストップの励行 ④ 定期的な車両整備の励行 ⑤ 走行距離と供給燃料量を記録する。
節水活動の推進	維持・管理	維持・管理	馬郡渉		<ul style="list-style-type: none"> ①水道の蛇口を調節して、必要以上に使いすぎないようにする。 ②流しっぱなしにしない。 ③トイレの使用の際に注意して、水を使用する。
廃棄物の削減・リサイクル活動の推進	廃棄物の100%回収・管理。	廃棄物の100%回収・管理。	山口 弥生 副島		<ul style="list-style-type: none"> ①紙使用量の削減 ・使用済みの封筒の再利用 ②社内購読の新聞などは資源ごみとして出し、再資源化率を向上 ④ ゴミの分別の徹底 ⑤ 再利用先の拡大 ⑥ 廃トナーの100%回収 ⑦ 廃部品の100%回収
グリーン購入の推進	全購入に対し85%以上	平成27年度85%以上の	山口 久美子		<ul style="list-style-type: none"> ① 環境配慮型商品を優先的に購入する。

	の購入。	購入			
化学物質の 管理	データ収 集・管理	データ収 集・管理	副島		① アルコールの在庫管理と、 使用量集計。
自らが生産・ 販売・提供す る製品及びサ ービスに関す る環境配慮	3カ年で 45パーセン ト増	平成27年度 15%増	馬郡渉		① 環境配慮型商品提案・販 売。
地域ボランテ ィア活動	年1回以上	平成27年度1 回以上	副島		①ペットボトルキャップ・リンクプル収集。 エコ活動参加。

⑥ 環境目標の実績

(実績値は、27年運用期間(27年12月～28年2月)3ヶ月間と、の基準年度の平成26年度の同期の値と比較する。総量は、12月から2月までの3ヶ月間の合計とする)

評価の○: 100%以上 △: 99%～80% ×: 79%以下

1) 省エネルギー活動の推進

電力消費量を平成26年度基準値より1%削減する。

項目	単位	26年度12月～2月 基準値	27年度 12月～2月	達成率	評価
電力消費量	kWh	14,376	14,797	97.2%	△
二酸化炭素排出量	kg-Co2	8,395.6	8,641.4	97.2%	△

九州電力二酸化炭素排出係数は平成26年度の数値0.584 kg-CO₂ / kWh (実排出係数)を使用

2) 自動車用燃料の二酸化炭素排出量の削減

燃料油消費量を平成26年度基準値より1%削減する。

項目	単位	26年度12月～2月 基準値	27年度 12月～2月	達成率	評価
燃料油消費量	L	4,470.8	4,023.8	111.1%	○
二酸化炭素換算量	kg-Co2	10,379.7	9341.9	111.1%	○

1リットル当りの走行距離の延長と運搬量の増加に努めます。

3) 一般廃棄物の削減・リサイクル活動の推進

一般廃棄物排出量は平成26年度基準値を継続、維持する。

項目	単位	26年度12月～2月 基準値	27年度 12月～2月	達成率	評価
再生利用	kg	744.63	689.2	108.0%	○
単純焼却等	kg	未計測	151.3(実施)	100%	○

4) 産業廃棄物の削減・リサイクル活動の推進

産業廃棄物排出量は平成26年度基準値を継続、維持する。

項目	単位	26年度12月～2月 基準値	27年度 12月～2月	達成率	評価
再生利用	kg	1,263.9	1,154.3	109.5%	○
単純焼却等	kg	28	64	43.8%	×

5) 節水活動の維持

水の使用量は、平成 27 年度より消費量を管理する。

項目	単位	26 年度 12 月～2 月 基準値	27 年度 12 月～2 月	達成率	評価
水使用量	m ³	未計測	34(実施)	100%	○

6) グリーン購入の推進

平成 26 年度目標は全購入品に対し 85%を目標とし管理する。

項目	単位	26 年度 12 月～2 月 基準値	27 年度 12 月～2 月	達成率	評価
グリーン購入	品目数	93.8	96.7	96.7%	○

7) 化学物質使用量の管理・・・エチルアルコール

平成 27 年度よりアルコール消費量を管理する。

項目	単位	26 年度 12 月～2 月 基準値	27 年度 12 月～2 月	達成率	評価
化学物質使用量	ℓ	未計測	1(実施)	100%	○

8) 自らが生産・販売・提供する製品及びサービスに関する環境配慮

環境配慮型商品を平成 27 年度は、平成 26 年度実績の 15%増を目標とする。

項目	単位	26 年度 12 月～2 月 基準値	27 年度 12 月～2 月	達成率	評価
環境配慮型 商品販売	千円	44,583	53,242	119.4	○

9) 地域ボランティア活動の推進

ペットボトル・リングルの再整利用提供。その他エコ活動を平成 27 年度は、年 1 回参加する。

項目	単位	26 年度 12 月～2 月 基準値	27 年度 12 月～2 月	達成率	評価
地域ボランティ ア活動	回/年間	1 回	0 回	0	×

⑦環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

1) 省エネルギー活動の推進

電力消費量を平成 26 年度基準値より 1 %削減する。

項目	評価	次年度の取組内容
電力消費量	目標未達成。僅かではあるが達成ならず。	社員への告知。意識づけ。
二酸化炭素排出量	目標未達成。僅かではあるが達成ならず。	社員への告知・意識づけ。

2) 自動車用燃料の二酸化炭素排出量の削減

燃料油消費量を平成 26 年度基準値より 1 %削減する。

項目	評価	次年度の取組内容
燃料油消費量	目標達成。継続的に削減推進。	継続推進。
二酸化炭素換算量	目標達成。継続的に削減推進。	継続推進。

1 リットル当りの走行距離の延長と運搬量の増加に努めます。

3) 一般廃棄物の削減・リサイクル活動の推進

一般廃棄物排出量は平成 26 年度基準値を継続、維持する。

項目	評価	次年度の取組内容
再生利用	分別・回収等良好。	現状維持。
単純焼却等	分別方法の変更があり、不十分な所が見受けられる。	分別種類の明確化、現状報告。

4) 産業廃棄物の削減・リサイクル活動の推進

産業廃棄物排出量は平成 26 年度基準値を継続、維持する。

項目	評価	次年度の取組内容
再生利用	分別に一部不十分な所があるが、おおむね良好。	分別種類の明確化。
単純焼却等	分別方法の変更があったが、おおむね良好。	分別種類の明確化。

5) 節水活動の維持

水の使用量は、平成 27 年度より消費量を管理する。

項目	評価	次年度の取組内容
水使用量	適正に管理されている。	1%削減を目標とする。

6) グリーン購入の推進

平成 26 年度目標は全購入品に対し 85%を目標とし管理する。

項目	評価	次年度の取組内容
グリーン購入	目標達成。グリーン商品の優先購入がなされている。	継続維持

7) 化学物質使用量の管理・・・エチルアルコール

平成 27 年度より消費量を管理する

項目	評価	次年度の取組内容
化学物質使用量	保存・消費ともに適正に管理している。	継続維持

8) 自らが生産・販売・提供する製品及びサービスに関する環境配慮

環境配慮型商品を平成 27 年度は、平成 26 年度実績の 15%増を目標とする。

項目	評価	次年度の取組内容
環境配慮型商品販売	目標達成。良好です。	継続推進。

9) 地域ボランティア活動の推進

ペットボトルキャップ・リンクプルを平成 27 年度は、年 1 回再利用提供する。

項目	評価	次年度の取組内容
地域ボランティア活動	12～2 月間では実績なし。	積極的エコ活動参加。

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並び に違反訴訟等の有無

環境関連法規への違反、訴訟等の有・無
関係法令について、過去3年間、関係機関等からの指導、指摘等はありませんでした。
又、訴訟等も同様に1件もありませんでした。
弊社でも適用法令すべてチェックし問題ない事を確認しました。
随時見直しを行い、弊社の事業活動に適用される環境法規制・条例等の遵守に努めます。

9. 代表者による全体評価と見直しの結果

平成14年（2002年）に取引先メーカー（株式会社リコー）からの取得の進めもあり
ISO14001による環境への関りがスタートしました。

環境方針に掲げます項目に従い定期的・定量的な目標の基に積極的に取り組んでまい
りました。

小さな行動ではありますが、社員個々の意識の向上を得ながら継続の意向は持積して
いました。

今回 佐世保市のセミナーを受講いたし「エコアクション21」のプログラムに接し、
地球温暖化防止の推進にチャレンジすることにより過去の活動の振り返りを行い、再度
環境目標の見直しと環境経営システムを確立いたしたく存じます。

CO2削減を目指し長崎県カーボンオフセット協議会への参画により、植樹活動を通して
社員とその家族への啓蒙も行う活動も始めました。

これまで以上に社員総力の結集を図っていく事が必要と感じます。

平成28年 3月 15日

株式会社マゴオリ 代表取締役 馬郡 謙一